

第4回キンボールジャパンオープン  
キンボール参加者のスポーツライフスタイル調査  
調査結果概要



鹿屋体育大学生涯スポーツ実践センター

協力  
東京都キンボール連盟  
日本キンボール連盟

## はじめに

本報告書は、2003年11月に東京都で開催された第4回キンボールジャパンオープン参加者を対象とした、「キンボール参加者のスポーツライフスタイルに関する調査」の調査結果について、その概要をまとめたものである。

キンボールは年々愛好者が増加し、毎年開催されるジャパンオープンの規模も大きくなりつつある。これまでも大会参加者へのアンケートは、大会運営のためのデータを得るために行われてきている。今回の試みは、参加者の大会に対する満足度を客観的に測定して今後の大会運営にフィードバックしていくことと、スポーツに対する価値観、志向、態度などを包括的に含む「スポーツライフスタイル」を測定して、キンボールの普及・発展のための基礎的な資料を得ることの2点を目的に行われた。

大会満足度は、大会へのリピーター獲得のための重要な指標の一つであるし、参加者がスポーツに対してどのようなスタイルで取り組んでいるのかということは、マーケティングを展開していく上で興味深い示唆を与えてくれるものである。本報告書ではスポーツライフスタイルについての詳細な分析には触れていないが、それでも、キンボール以外の種目を経験している参加者とそうでない参加者とでは、スポーツに取り組む姿勢がずいぶんと違う様子が浮き彫りになっている。本報告書が、今後開催されるキンボール大会運営やキンボール普及の上で、お役に立てれば幸いである。

最後に、調査に協力いただいた参加者の皆さん、調査票の配布と回収に尽力してくださった日本キンボール連盟の上山洋史さん、兵庫県キンボール連盟の白川真紀さんはじめスタッフの皆さん、データの入力をサポートしてくださった鹿児島県キンボール連盟の今井志保さんにお礼を申し上げます。

鹿屋体育大学生涯スポーツ実践センター  
日本キンボール連盟 理事  
鹿児島県キンボール連盟 理事長  
北村尚浩

※ 本報告書に関するご意見、ご質問は下記までお願いいたします。

鹿屋体育大学生涯スポーツ実践センター  
北村尚浩  
〒891-2393  
鹿児島県鹿屋市白水町1番地  
TEL&FAX 0994-46-4968 E-mail kin-ball@nifs-k.ac.jp

## 調査結果の要約

### 1. キンボールプレーヤーは「ベスト志向」

「勝利志向」は弱く自分のベストを尽くそうとする態度が強い。男性と女性とでは、男性の方が「勝利志向」が強い。

### 2. 平均継続期間は 1.47 年，活動頻度は 1 か月あたり 4.51 回

キンボールを 3 年以上続けているのは 13.8%。3 割が 1 年未満。まだ普及段階にあることが分かる。1 週間に 1 回から 2 回の活動頻度。全国大会が身近な種目といえる。

### 3. キンボール以外の種目も約 45%が実施。キンボールよりも活動頻度は高い。

半数近くがキンボール以外の種目も定期的に行なっている。その活動頻度はキンボールよりも高く、「マイナー感」は否めない。

### 4. キンボールプレーヤーは健康意識，好奇心が強い。その一方で，スポーツへの傾倒は弱い。

健康のために気軽にスポーツを楽しむ層が多い。スポーツに限らず広い関心や興味を示す傾向がある。従来のスポーツ参加者とは異なるスポーツライフスタイルを形成している可能性がある。

### 5. ホスピタリティに高い満足度。具体的な運営には改善の余地あり。

スタッフや競技者相互の交流，大会運営のホスピタリティに関する評価が相対的に高い。その一方で，レフリーや試合時間，試合数などに対しては低い評価であった。他種目の大会と比較されると，厳しい評価を受ける。

### 6. リピーターの獲得には成果あり。

90%以上が今後のキンボール大会に参加する意向を持っている。その一方で，“常連”以外は参加しにくい雰囲気とならないよう，新規の参加者獲得が課題といえる。

## 方法

### 1. 調査の概要

調査は、2003年11月23日と24日に東京都で開催された「第4回キンボールジャパンオープン」の参加者を対象に、所定の質問紙による配票調査を実施した。会場で参加者に手渡し、本部付近に設置した回収箱を用いて回収した。300部配布し回収数(率)は133部(44.3%)であった。そのうち、分析に耐えうる125部を分析対象とした。

### 2. 分析方法

全体の傾向を把握するため、全項目について単純集計を行った。また、いくつかの項目については性別、他種目実施の有無による比較を行った。

## 結果

### 1. サンプルの属性

表1に分析対象となったサンプルの属性を示している。性別では、男性が67.2%、女性が30.4%で男性の方が多い。年齢は20歳代が最も多く(39.2%)、次いで10歳代(36.8%)、30歳代(9.6%)と続いている。平均年齢は24.9歳で、未婚者の割合(80.0%)や半数以上(55.2%)を学生が占めていることから、若年者層の参加が多いことが分かる。

表1 サンプルの属性

	n	%		n	%
性別			職業		
男性	84	67.2	会社員	19	15.2
女性	38	30.4	団体職員	3	2.4
N.A.	3	2.4	公務員	9	7.2
年齢			自営業	5	4.0
10歳代	46	36.8	主婦	4	3.2
20歳代	49	39.2	学生	69	55.2
30歳代	12	9.6	パート・アルバイト	4	3.2
40歳代	6	4.8	無職	2	1.6
50歳代	5	4.0	その他	4	3.2
60歳代	2	1.6	N.A.	6	4.8
N.A.	5	4.0	最終学歴		
		平均:24.93歳	中学校	15	12.0
婚姻			高校	45	36.0
未婚	100	80.0	専門学校	9	7.2
既婚	21	16.8	短大・高専	11	8.8
N.A.	4	3.2	4年制大学	29	23.2
			その他	6	4.8
			N.A.	10	8.0

## 2. 過去のスポーツ経験

過去に継続的に実施したことのあるスポーツ種目から、最も継続期間が長かった種目の上位 5 種目を表 2 に示している。「バスケットボール」と回答した者が 14.3%で最も多く、次いで「水泳」「野球」(ともに 12.5%)、「バレーボール」(11.6%)、「サッカー」「テニス」(ともに 6.3%)の順であった。

それらの種目の継続年数(表 3)は、5 年以下と答えた者が 50%で、6-10 年の者と合わせるとおよそ 8 割に達する。その一方で、16 年以上継続して行ったと回答した者も約 1 割見られた。平均は 7.38 年であった。また、活動場所としては「部活動」が最も多くあげられ(79.4%)、スポーツ活動の場として学校の運動部活動が大きなウエイトを占めている様子が明らかである(表 4)。

表2 過去の実施種目(第1位::上位5種目)

	n	%
バスケットボール	16	14.3
水泳	14	12.5
野球	14	12.5
バレー	13	11.6
サッカー	7	6.3
テニス	7	6.3

表3 過去の種目の継続年数

	n	%
1-5年	54	50.0
6-10年	29	26.9
11-15年	15	13.9
16年以上	10	9.3

表4 過去の種目の活動場所

	n	%
部活	77	79.4
地域のクラブ	8	8.2
スクール	7	7.2
少年団	4	4.1
サークル	1	1.0

### 3. スポーツに対する志向

ジャパンオープン参加者は、スポーツに対してどのような志向を持っているのだろうか。Webb(1969)の尺度を用い、「ベスト志向」「勝利志向」「フェア志向」の3つに、重視するものから順に番号をつけるよう求めた。その結果、「ベスト志向」を1位にあげた者が56.0%で、次いで「勝利志向」「フェア志向」の順であった。一方、ほぼ半数の者が「勝利志向」を3位にあげている(表5)。

同様に、それぞれの志向について5段階評定順に1~5までの得点を与えて数量化し、平均値を求めた。その結果、「ベスト志向」の値がもともと高く(4.50)、「勝利志向」が一番低い値を示した(3.15)。これらのことから、今回のサンプルは、自分の力を出して精一杯に競技しようとする志向が強いということが分かる(表6)。

また、男女での比較を行ったところ、男性は女性よりも「勝利志向」が強く、逆に女性は男性よりも「フェア志向」が強いことが明らかになった(表7)。

表5 スポーツに対する志向(順位)

順位	ベスト志向		勝利志向		フェア志向	
	n	%	N	%	n	%
1位	70	56.0	25	20.0	22	17.6
2位	35	28.0	26	20.8	51	40.8
3位	11	8.8	61	48.8	41	32.8
N.A.	9	7.2	13	10.4	11	8.8

表6 スポーツに対する志向(平均値)

	n	Mean	S.D.
ベスト志向	125	4.50	0.74
勝利志向	123	3.15	1.14
フェア志向	125	4.16	0.91

表7 性別とスポーツに対する志向

	性別	n	Mean	S.D.	t
ベスト志向	男性	84	4.43	.781	-1.22
	女性	38	4.61	.638	
勝利志向	男性	83	3.33	1.083	2.46*
	女性	37	2.78	1.182	
フェア志向	男性	84	4.00	.994	-2.72*
	女性	38	4.47	.603	

#### 4. キンボール, スポーツ実施状況

キンボールの実施状況を表 8 に示している。継続期間は 1 年以上 3 年未満の者が半数を占め, 1 年未満の者も 35.8%にのぼった。平均継続期間は 1.47 年である。日本にキンボールが紹介されて 10 年に満たないこともあり, 普及段階にあることが分かる。キンボールの活動頻度は, 概ね 1 週間に 1~2 回程度と見られ, 継続年数が 1 年未満の経験者や週に 1~2 回の練習量でも, 全国大会であるジャパンオープンに参加できる機会があるという点は, 普及段階にあるキンボールが多くの人に開かれた種目であることを示しており, この種目の魅力と言える。

一方, キンボール以外の種目を行っている者の割合は 44.8%で, 約半数がキンボールと他の種目を併せて実施していることが分かる。実施頻度は 2 回以上と回答した者が 44.6%にのぼり, キンボールよりも頻繁に活動している(表 9)。

表8 実施状況

	n	%
継続期間		
1年未満	44	35.8
1-3年未満	62	50.4
3年以上	17	13.8
		平均: 1.47年
活動頻度(週当たり)		
1回未満	34	27.2
1-2回未満	60	48.0
2回以上	23	18.4
N.A.	8	6.4
		平均: 4.51回/月

表9 他種目の実施状況

	n	%
実施	56	44.8
非実施	66	52.8
N.A.	3	2.4
活動頻度(週当たり n=56)		
1回未満	11	19.6
1-2回未満	17	30.4
2回以上	25	44.6
N.A.	3	5.3
		平均: 9.64回/月

#### 4. スポーツに対する意識, 価値観, 行動

スポーツに対する AIO(活動, 関心, 意見)に関する項目を数値化し, 平均値を求めた結果を表 10 に示している. 最も高い値を示した項目は「スポーツで健康な体を維持できると思う」(4.27)で, 次いで「スポーツだけでなくいろいろなことをしてみたい」(4.22), 「やりたいことがたくさんある」(4.15), 「定期的に運動・スポーツを行っている」(4.12), 「スポーツをする姿は美しいと思う」(4.11), 「運動やスポーツは健康維持に欠かせない」(4.01)などの 6 項目で平均値が 4.0 以上であった. これらのことは, キンボールプレーヤーは健康志向で, スポーツ以外のことに対しても広く関心を持っていることを示唆するものである.

一方, 最も低い値を示したのは「新しいスポーツ用品が発売されると買ってみたいことが多い」(2.24), 「流行のスポーツウェアを持っている」(2.40), 「人よりも先に新しいスポーツ用品を試して見る人が多い」(2.51)などのスポーツ・ファッションに関する項目や, 「スポーツに関して友人や知人からよく相談を受ける」(2.65), 「スポーツ活動に関して友人によく相談する」(2.97)などの項目が 3.0 未満の値を示している. つまり, スポーツ・ファッションには無頓着な様子や, スポーツに関して人に相談するほど深くコミットしていない姿を浮き彫りにするものである.

これらの結果から, キンボールプレーヤーは健康志向が強く運動やスポーツに定期的に取り組む姿勢を持ちつつも, スポーツ以外のことに対しても強い好奇心や関心を抱いている. その一方で, スポーツウェアや用具に対するファッションセンスはさほど敏感ではなく, スポーツ活動には強い傾倒は示しておらず気軽にスポーツを楽しむ志向が強いと考えられる.

他種目の実施・非実施によって比較してみるとこのような傾向が明らかである(表 11). キンボール以外のスポーツを行っている者とキンボールしか行っていない者との間では, スポーツに対する AIO 項目の多くでキンボール以外の種目を実施しているの方が, 統計的に高い値を示している. つまり, スポーツへの関わり方を示すこれらの項目に対して, 他の種目も行っているの方が強く反応していると捉えることができる. しかしながら, 筆者らが行った別の調査と比較しても, 今回のキンボール参加者のスポーツに対する AIO の各項目への反応はかなり低い. このことは, キンボール参加者は, 従来のスポーツ参加者とは異なるスポーツライフスタイルを形成している可能性を示唆するものである.



表 10 スポーツに対する AIO の平均値

	n	mean	S.D.
スポーツで健康な体を維持できると思う	123	4.27	0.840
スポーツだけではなくいろいろなことをしてみたい	125	4.22	0.799
やりたいことがたくさんある	121	4.15	0.863
定期的に運動・スポーツを行っている	121	4.12	1.050
スポーツをする姿は美しいと思う	124	4.11	0.989
運動やスポーツは健康維持に欠かせない	124	4.01	0.975
スポーツ観戦が好きだ	124	3.91	1.020
スポーツの試合を見たり聞いたりするのが好きだ	122	3.88	1.017
地域の仲間たちとスポーツを一緒にしたいと思う	122	3.75	1.033
勝敗にこだわらず楽しくスポーツを行っている	122	3.72	1.145
スポーツをするにはお金がかかる	124	3.71	0.935
スポーツの話をするのはとても楽しい	124	3.65	1.028
スポーツマンの身体美にあこがれる	125	3.54	1.202
スポーツは勝つことに意義があると思う	124	3.52	1.078
スポーツで人と競うのが好きだ	125	3.51	1.140
他人よりも自主的にスポーツに取り組んでいる	125	3.46	1.097
運動やスポーツについて友人と長時間話し合うことがある	125	3.34	1.086
スポーツは身体にケガや障害を及ぼす	123	3.24	1.017
地域のスポーツ活動の手伝いをするのが好きだ	125	3.21	1.200
スポーツは芸術だと思う	124	3.18	1.162
地域で行われるスポーツ行事には積極的に参加する	124	3.08	1.123
スポーツ活動に関して友人によく相談する	123	2.97	1.093
新聞のスポーツ欄はだいたい毎日読む	122	2.95	1.413
地域のスポーツクラブで積極的に活動している	124	2.90	1.265
スポーツに関して友人や知人からよく相談を受ける	124	2.65	1.036
新しいものや変わったスポーツ用品を試すのが好きだ	122	2.57	1.157
人よりも先に新しいスポーツ用品を試してみることが多い	125	2.51	1.052
流行のスポーツウェアを持っている	124	2.40	1.126
新しいスポーツ用品が発売されると買ってみることが多い	123	2.24	1.155

表11 他種目の実施状況とスポーツに対するAIO

	他種目の実施	n	mean	S.D.	t
人よりも先に新しいスポーツ用品を試してみることが多い	実施	56	2.91	1.032	4.10**
	非実施	66	2.17	.970	
運動やスポーツについて友人と長時間話し合うことがある	実施	56	3.82	.936	4.90**
	非実施	66	2.94	1.036	
スポーツ観戦が好きだ	実施	55	4.05	1.008	1.34
	非実施	66	3.80	1.041	
スポーツで健康な体を維持できると思う	実施	54	4.48	.795	2.57*
	非実施	66	4.09	.854	
地域で行われるスポーツ行事には積極的に参加する	実施	55	3.45	1.119	3.43**
	非実施	66	2.77	1.064	
スポーツは芸術だと思う	実施	56	3.36	1.242	1.62
	非実施	66	3.02	1.088	
やりたいことがたくさんある	実施	54	4.35	.756	2.23*
	非実施	64	4.00	.926	
スポーツは勝つことに意義があると思う	実施	56	3.66	1.116	1.41
	非実施	65	3.38	1.041	
新しいスポーツ用品が発売されると買ってみることが多い	実施	54	2.56	1.160	2.74*
	非実施	66	1.98	1.116	
スポーツ活動に関して友人によく相談する	実施	55	3.18	1.020	2.00*
	非実施	65	2.78	1.139	
スポーツの試合を見たり聞いたりするのが好きだ	実施	55	4.02	1.045	1.26
	非実施	64	3.78	1.000	
スポーツマンの身体美にあこがれる	実施	56	3.73	1.228	1.50
	非実施	66	3.41	1.150	
スポーツだけではなくいろいろなことをしてみたい	実施	56	4.30	.872	1.14
	非実施	66	4.14	.742	
スポーツで人と競うのが好きだ	実施	56	3.77	1.112	2.35
	非実施	66	3.29	1.134	
新しいものや変わったスポーツ用品を試すのが好きだ	実施	53	2.81	1.020	2.15*
	非実施	66	2.36	1.248	
スポーツに関して友人や知人からよく相談を受ける	実施	56	2.93	.951	2.81**
	非実施	65	2.42	1.044	
地域の仲間たちとスポーツを一緒にしたいと思う	実施	55	3.98	.952	2.60*
	非実施	64	3.50	1.054	
スポーツをする姿は美しいと思う	実施	55	4.31	.900	2.07*
	非実施	66	3.94	1.036	
勝敗にこだわらず楽しくスポーツを行っている	実施	55	3.64	1.253	-0.68
	非実施	64	3.78	1.061	
流行のスポーツウェアを持っている	実施	55	2.69	1.103	2.60*
	非実施	66	2.17	1.104	
スポーツの話をするのはとても楽しい	実施	56	4.07	.931	4.42**
	非実施	65	3.29	.996	
他人よりも自主的にスポーツに取り組んでいる	実施	56	3.93	.892	4.75**
	非実施	66	3.06	1.094	
地域のスポーツクラブで積極的に活動している	実施	56	3.46	1.220	4.91**
	非実施	65	2.42	1.130	
スポーツをするにはお金がかかる	実施	55	3.87	.924	1.65
	非実施	66	3.59	.944	
スポーツは身体にケガや障害を及ぼす	実施	55	3.18	1.038	-0.65
	非実施	65	3.29	1.011	
定期的に運動・スポーツを行っている	実施	55	4.49	.814	3.97**
	非実施	63	3.78	1.128	
新聞のスポーツ欄はだいたい毎日読む	実施	54	3.28	1.338	2.63*
	非実施	66	2.70	1.446	
運動やスポーツは健康維持に欠かせない	実施	55	4.27	.971	2.69**
	非実施	66	3.77	.941	
地域のスポーツ活動の手伝いをするのが好きだ	実施	56	3.63	1.121	3.91**
	非実施	66	2.82	1.149	

\*p&lt;.05 \*\*p&lt;.01

## 5. 大会満足度

今回のジャパン・オープンに対する参加者の満足度はどのようなものであったのだろうか。表 12 に満足度を「満足」から「不満足」まで 5 段階評価で表し平均値を算出した結果を示している。

大会全体の満足度は 3.63 で、高い値を示した項目は「運営スタッフの対応」(3.58)、「ゲームのレベル」(3.57)、「他の参加者との交流」(3.51)などの項目で、スタッフや競技者相互の交流、大会運営といったホスピタリティに関する評価が相対的に高いことが分かる。その一方で、試合時間や試合数、審判の技術など競技に直接的に関わる面での満足度が低い。審判の技術に関しては、2004 年度から B 級レフリーの認定試験などが導入されており、改善が期待されている。大会そのものの運営方法については、今後十分な検討を加える余地がありそうである。

今後のキンボール大会への参加意向については、90%以上が「参加する」「たぶん参加する」と答えており、高いリピーター率が期待されよう。同時に、新たな参加者獲得が課題といえる(表 13, 14)。

表 12 参加者の大会満足度

	n	Mean	S.D.
大会全体の満足度	120	3.63	1.021
運営スタッフの対応	120	3.58	1.199
ゲームのレベル	118	3.57	.947
他の参加者との交流	119	3.51	.901
大会運営	119	3.39	1.067
開催時期(11月23, 24日)	120	3.38	1.153
会場の施設・設備	118	3.38	1.093
参加者への支給品(参加賞)	119	3.37	1.057
開催地(東京都中央区・港区)	116	3.37	1.262
会場の地理的な利便性(交通機関等)	119	3.27	1.219
大会に関する広報(宣伝・広告)	118	3.13	.863
審判の技術	117	3.10	1.282
試合数	120	3.05	1.282
大会参加費	119	2.97	1.089
試合時間	121	2.85	1.346

表 13 今後の参加意向

参加する	57.9
たぶん参加する	38.8
たぶん参加しない	2.5
参加しない	0.8

表 14 その理由

大会に満足	34.5
大会に不満足	1.7
結果に満足	3.4
結果に不満足	35.3
別の種目にチャレンジ	.9
キンボールはもう結構	.9
参加できる大会が少ない	7.8
その他	15.5

さらに、他種目の実施の有無による大会満足度の違いを、表 15 に示している。「スタッフ」「施設設備」「開催地」「交流」「レベル」の 5 項目で有意な差が認められ、キンボール以外の種目も行なっている者の満足度の方がキンボールしか行なっていない者よりも高いことが明らかになった。この結果は、他の種目の大会よりも満足し得るものと評価されていると捉えることができる一方で、キンボール以外の種目を行なっていない参加者にとっては基準となる尺度が他にはないわけで、より厳しい評価として受けとめるべきであろう。

表15 他種目の実施と大会満足度

	他種目の実施	n	Mean	S.D.	t
開催時期	実施	55	3.53	1.168	1.42
	非実施	62	3.23	1.122	
参加費	実施	55	2.96	.999	0.14
	非実施	61	2.93	1.167	
参加賞	実施	55	3.49	1.016	1.07
	非実施	61	3.28	1.113	
スタッフ	実施	55	3.85	1.113	2.60*
	非実施	62	3.29	1.220	
試合数	実施	56	3.20	1.367	0.97
	非実施	61	2.97	1.197	
試合時間	実施	56	2.80	1.367	-0.33
	非実施	62	2.89	1.356	
審判	実施	54	3.30	1.355	1.65
	非実施	60	2.90	1.217	
運営	実施	56	3.45	1.143	0.52
	非実施	60	3.32	1.000	
アクセス	実施	56	3.43	1.234	1.53
	非実施	60	3.08	1.197	
施設設備	実施	55	3.60	1.082	2.24*
	非実施	60	3.15	1.071	
開催地	実施	54	3.65	1.184	2.30*
	非実施	59	3.12	1.261	
交流	実施	56	3.77	.809	3.08**
	非実施	60	3.27	.936	
広報	実施	56	3.25	.939	1.55
	非実施	59	3.00	.788	
レベル	実施	55	3.76	.838	2.16*
	非実施	60	3.38	1.027	
全体	実施	56	3.73	1.000	1.09
	非実施	61	3.52	1.058	

\*p<.05 \*\*p<.01

# 調 査 用 紙

## 第4回キンボールジャパンオープン キンボール参加者のスポーツライフスタイル調査

### 【お 願 い】

この調査はキンボールを楽しむ皆さんのスポーツライフスタイルを明らかにすることによって、今後のキンボール普及のための基礎的な資料を得ようとするものです。本調査で集められるデータは学術的な目的のためにのみ用いられ、調査内容はすべて統計的に処理されます。したがって回答をいただいた皆さんの個人情報が入部に漏れることはなく、ご迷惑をおかけすることは決してありません。どうぞ調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

この質問紙は、大会終了までに記入して下さい。回答された質問紙は、会場に備え付けの回収箱に入れていただくか、日本キンボール連盟スタッフへお渡し下さい。なお、本調査へのご質問、ご意見等は下記までお願いいたします。

お手数をおかけしますが、何卒よろしくをお願いいたします。

調査代表者：日本キンボール連盟理事  
鹿児島県キンボール連盟理事長  
北村尚浩（鹿屋体育大学生涯スポーツ実践センター）  
TEL&FAX 0994-46-4960 kin-ball@nifs-k.ac.jp  
調 査 協 力：日本キンボール連盟・東京都キンボール連盟

### 【記入上の注意】

1. 回答は口に✓を入れるものと、( )内、もしくは下線部に記入するものがあります。
2. 特に指示がある場合を除いて、1つだけ✓の印をつけて下さい。
3. もれなく、すべての質問にお答え下さい。

#### 記入例

運動することが好きである

とてもあて  
はまる      まああては  
まる      どちらでも  
ない      あまりあて  
はまらない      全くあては  
まらない

### あなたのスポーツ実施状況についておたずねします。

Q1 あなたがこれまでに行ってきたスポーツを、長く行ったものから順に3種目まであげて下さい。競技レベルは下の枠内から選び、その番号を( )に記入して下さい。

種 目	活 動 場 所	始めた年齢	やめた年齢	競技レベル
(例)		歳	~	歳 ( )
1. _____	_____	_____歳	~	_____歳 ( )
2. _____	_____	_____歳	~	_____歳 ( )
3. _____	_____	_____歳	~	_____歳 ( )

#### 競技レベル

1. 市内(町内)大会出場    2. 県大会出場    3. ブロック(関東, 中国など)大会出場    4. 全国大会出場



**第4回ジャパンオープンについておたずねします。**

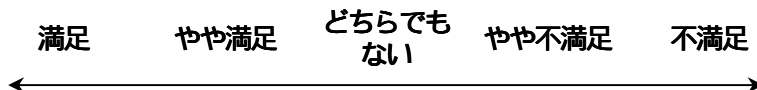
Q9 今回のジャパンオープンでの参加部門は？ フレンドリーの部                      チャンピオンの部

Q10 今回の参加チームは、主にどのようなメンバーで構成されていますか？

地域の友人・知人              学校の友人              職場の同僚              家族

その他 ( \_\_\_\_\_ )

Q11 今回のジャパンオープンに参加されて、以下の項目についてどの程度満足されましたか？最もあてはまる箇所の  に✓ (チェック) を入れて下さい。



開催時期 (11月23, 24日)
大会参加費
参加者への支給品 (参加賞)
運営スタッフの対応
試合数
試合時間
審判の技術
大会運営
会場の地理的な利便性 (交通機関等)
会場の施設・設備
開催地 (東京都中央区・港区)
他の参加者との交流
大会に関する広報 (宣伝・広告)
ゲームのレベル
大会全体の満足度

Q12 今後、再びキンボールの大会に参加されますか？

参加する              たぶん参加する              たぶん参加しない              参加しない

Q13 上記 Q12 の理由を一つ選んでください。

大会に満足              大会に不満              結果に満足              結果に不満              別の種目にチャレンジ  
 キンボールはもう結構              参加できる大会が少ない              その他 ( \_\_\_\_\_ )

**あなた自身についてお尋ねします。**

性別	年齢	婚姻歴	住所
男性      女性	満      歳	未婚      既婚	都道府県

FQ1 . 職業は？              会社員              団体職員              公務員              自営業              主婦              学生  
 パート・アルバイト              無職              その他 ( 具体的に: \_\_\_\_\_ )

FQ2 . 最終学歴は？              中学校卒              高校卒              専門・専修学校卒              短大・高専卒  
 ( 在学中を含む )              4 年制大学卒              大学院修了              その他 ( \_\_\_\_\_ )

最後に、第4回ジャパンオープンに参加されての感想、ご意見等があれば自由にご記入下さい。


以上で質問を終わります。ご協力いただきありがとうございました。  
 会場の回収箱にお入れいただくか、日本キンボール連盟スタッフまでお渡し下さい。